八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 08 2006

「虫の展示とトンボ」号

7月中旬、梅雨前線が北上して島は梅雨明けを思わせる天気が続きました。しかし、下旬には梅雨空へ逆戻りしてしまい、時おり叩きつけるような激しい雨も降り、大雨警報が発令されるほどでした。22日に予定していた「川の生きもの観察会」は川が増水したため中止、「夜の昆虫観察会」も雨の影響で虫がとても少なかったです。翌23日の三原山縦断もコースを変更して行う予定でしたが雨で中止となってしまいました。

8月には夏らしい青空の下、海や山を存分に楽しみたいものですね。

さて、今回は新しい展示「虫・ムシ・むしの写真展」と「島で見られるトンボ」についてのお話です。

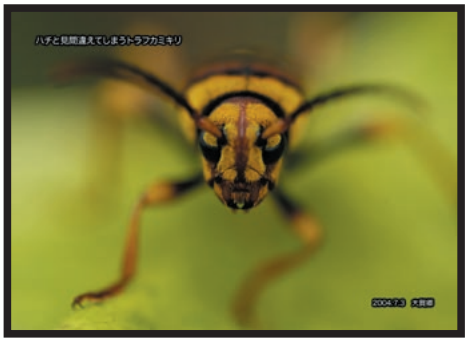
虫・ムシ・むしの写真展

夏休みになるとたくさんの子供達がビジターセンターに遊びに来てくれます。そこで、島の虫に興味をもってもらうため、新しい展示「虫・ムシ・むしの写真展」を企画しました。

島に棲む虫たちの表情やおもしろい生態を写真で紹介するとともに、以前作成した「八丈虫譜」にさらにいろいろな虫を追加しました。また、実物の虫を知ってもらうために標本も合わせて展示しています。

期間限定の虫展示を是非見に来てください。

子供を背負うアマミサソリモドキ


ハチと見間違えてしまうトラフカミキリ

ナミテントウの模様いろいろ

「八丈虫譜」・・2003年6月に作製した時点では、56種（77枚）でした。作製してから3年経った今では2冊に増え、約270種（343枚）にもなりました。

八丈島らしい虫はできるだけ撮影していますが、まだまだ撮影しなければならない種は沢山あります。これからも増やしていきたいと思います。

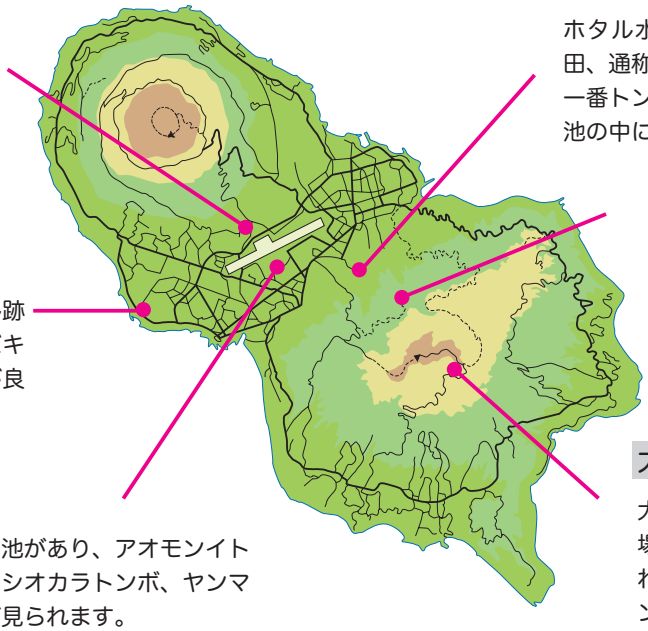
「標本箱」・・写真展示の下には3つの標本箱を展示しています。

左は「八丈島のクワガタムシ」、島で見られる5種類のクワガタムシを入れてあります。中央は「八丈島のチョウ・ガ」、島の代表的なチョウや大型のガが入っています。右は「八丈島のカミキリムシ」、26種類のカミキリムシが入っています。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

島で見られるトンボ

八丈島で見られるトンボは種類が少なく、数も多くありません。それは土着している種が少なく、渡ってくる種も少ないためです。しかし、南から渡ってくるウスバキトンボだけは、島内で繁殖を繰り返し行うため、春から徐々に数を増やしていきます。下に、島で探すトンボ観察マップと島で記録のあるトンボのリストを作成しました。いろいろなトンボを探して、観察してみると面白いですよ。



園芸技術センター周辺

センターの中に池があるため、ハネビロトンボが毎年確認されています。ウスバキトンボやヤンマ類も見られます。

ホタル水路周辺

ホタル水路はもちろん周辺には鴨川や水田、通称いずみと呼ばれる池もあり、島で一番トンボが観察できる場所です。
池の中にはヤゴもたくさん見られます。

南原千畳敷周辺

以前建っていたホテルのプール跡などの水場で発生する、ウスバキトンボやハネビロトンボなどが良く見られます。

鴨川林道/大川流域

鴨川林道にはいくつもの沢があり、終点には大川もあります。水が豊富なため、シオカラトンボ・ウスバキトンボ・ヤンマ類などいろいろなトンボが見られます。

八丈植物公園

バードサンクチュアリには池があり、アオモンイトトンボやウスバキトンボ、シオカラトンボ、ヤンマ類などいろいろなトンボが見られます。

大池・小池周辺

大池・小池周辺には他にも水が溜まる場所があるため、トンボが多いと思われます。ヤブヤンマなど樹陰を好むトンボがよく見られます。

アオモンイトトンボ

ウスバキトンボ

シオカラトンボ

ネキトンボ

ハネビロトンボ

八丈島で過去記録のあるトンボ

撮：撮影 / 標：標本

和名	学名	VC での確認
アオモンイトトンボ	*Ischnura senegalensis*	○ (撮・標)
アジアイトトンボ	*Ischnura asiatica*	○ (誤同定 ?)
オオアオイトトンボ	*Lestes temporalis*	×
オニヤンマ	*Anotogaster sieboldii*	× (誤同定 ?)
カトリヤンマ	*Gynacantha japonica*	○ (標)
ヤブヤンマ	*Polycanthagyna melanictera*	○ (撮・標)
ギンヤンマ	*Anax parthenope julius*	○ (撮・標)
オオギンヤンマ	*Anax guttatus*	○ (標)
コシボソヤンマ	*Boyeria maclachlani*	× (誤同定 ?)
ハラビロトンボ	*Lyriothemis pachygastra*	×
シオカラトンボ	*Orthetrum albistylum speciosum*	○ (撮・標)
シオヤトンボ	*Orthetrum japonicum japonicum*	×
オオシオカラトンボ	*Orthetrum triangulare melania*	○ (撮・標)
ウスバキトンボ	*Pantala flavescens*	○ (撮・標)
コシアキトンボ	*Pseudothemis zonata*	○ (撮・標)
ネキトンボ	*Sympetrum speciosum speciosum*	○ (撮・標)
ハネビロトンボ	*Tramea virginia*	○ (撮・標)

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。前回は 7 月 9 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 18 年第 7 回）
参加者・新堀、新堀、古謝、菊池昭、川畑、小野寺、森、菊池陽、vc 菊池　8 名

NO.	和名　（島名）	状　態
	草本	
1	オニユリ	実と無性芽
2	オオバコ	実
3	コナスビ	花と実
4	トウバナ	実
5	ヤマカモジグサ	実
6	マスクサ	実
7	ヒメクグ	実
8	クサイ	実
9	オオニワゼキショウ	花と実
10	ヒメジョオン	花
11	シマウチワドコロ	花
12	タチスズメノヒエ	花
13	アメリカスズメノヒエ	花
14	シロツメクサ	花
15	テリハノブドウ	花と実
16	ツユクサ	花
17	ヒナギキョウ	花
18	イガガヤツリ	実
19	ヒンジガヤツリ	実
20	ネジバナ	実
21	ニワゼキショウ	花と実
22	コケリンドウ	花と実
23	ヤマイ	実
24	シマホタルブクロ	花
25	シマスズメノヒエ	花
26	アオノクマタケラン	花
27	ツメクサ	花と実
28	ドクダミ	実
29	ツルマオ	花
30	コセンダングサ	実
31	ナギナタガヤ	実
32	ミツバ	花
33	ヒメヒオウギズイセン	花、盛り
34	タケダグサ	花
35	ノチドメ	花
36	イヌホオズキ	花と実
37	ヤブジラミ	実
38	オオアレチノギク	花
37	ハキダメギク	花
38	タカサブロウ	花
39	メヒシバ	実
40	シチトウスミレ	閉鎖花多数
41	イワニガナ	花
42	カタバミ	花と実
43	スズメノヤリ	実
44	チチコグサ	実
45	ウスベニニガナ	花
46	ウラジロチチコグサ	実
47	トキワツユクサ	花
48	ヤブガラシ	花
49	コマツヨイグサ	花と実
50	アオツヅラフジ	花
51	オニタビラコ	花
52	ママコノシリヌグイ	花
53	キランソウ	花
54	アメリカキンゴジカ	花と実
55	カニツリグサ	実
56	ベニバナボロギク	花
57	シマササバラン	実
58	マメグンバイナズナ	実
	木本	
1	ガクアジサイ	花、盛り
2	ヤブツバキ	実
3	マンリョウ	花
4	ホルトノキ	咲き始め
5	オオムラサキシキブ	花
6	テイカカズラ	実
7	イヌビワ	実
8	ヒメユズリハ	実
9	ハゼノキ	実
10	モッコク	花
11	アカメガシワ	若い実
	今回は 69 種の植物を観察しました。	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「シマウチワドコロ」にスポットを当ててみたいと思います。

シマウチワドコロ

Dioscorea septemloba var. sititoana

ヤマノイモ科、多年生のつる性植物。キクバドコロの変種で伊豆諸島に分布しています。

キクバドコロよりも葉や蒴果が大型になり、6 月～ 7 月にかけて淡い黄緑色の花が咲きます。島の中には、このシマウチワドコロ以外のヤマノイモ科の植物が、3 種類（ニガカシュウ、ヤマノイモ、オニドコロ）あります。

2006 8 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は特別行事があります		1 09：00 03：02 21：01 14：45	◐ 2 10：12 03：55 21：29 15：18	3 12：18 06：03 22：05 16：01	4 14：46 06：24 23：05 17：37	5 ガイドウォーク 15：54 07：39 20：05
6 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」 00：43 08：41 16：33 21：24	7 02：06 09：33 17：07 22：11	立秋 8 03：08 10：20 17：39 22：49	○ 9 夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 04：02 11：03 18：10 23：26	10 04：53 11：45 18：40	11 05：43 00：04 19：08 12：24	12 ガイドウォーク 06：33 00：43 19：33 13：01
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 夏休み特別行事 「夏の星空観望会」 07：24 01：24 19：57 13：36	14 08：19 02：07 20：20 14：07	15 09：22 02：56 20：42 14：34	◑ 16 10：56 03：55 21：05 14：55	17 21：37 05：11	18 16：51 06：43 23：08 18：47	19 ガイドウォーク スライドショウ 「八丈島の海」 08：03 16：37 21：30
20 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「子供クラフト教室」 01：28 09：02 16：54 22：05	21 02：42 09：47 17：13 22：32	22 03：33 10：24 17：32 22：56	処暑 23 04：14 10：56 17：50 23：19	● 24 夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 04：51 11：26 18：08 23：43	25 05：27 11：54 18：25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「巣箱を調べよう」 06：02 00：09 18：42 12：21
27 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「子供クラフト教室」 06：37 00：37 19：01 12：48	28 07：15 01：06 19：20 13：13	29 07：54 01：38 19：39 13：38	30 08：40 02：14 19：58 14：02	31 09：44 02：58 20：17 14：23		

イベントプログラム

夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」	今年のコースは、防衛道路無線局から山頂、大池・小池から唐滝へ降りてきます。 8／6 （9：30～ 約6時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 定員：20名
夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	潮だまりに棲む生きものを採集してみんなで観察します。濡れても良い格好で！サンダルは不可 8／9・8／24 （10：00～ 約2時間） 小学生と保護者 現地集合・解散（当日決定） 参加費：100円 定員：15名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 8／13 （13：30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名
夏休み特別行事 「夏の星空観望会」	夏の大三角形など夏を代表する星の観望会。今年の天気はどうでしょうか？ 8／13 （19：30～ 約1時間半） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：100円 定員：20名
スライドショウ 「八丈島の海」	島でダイビングサービスを営む田中 幸太郎さんによるスライドショウ。 8／19 （19：30～ 約1時間半） だれでも ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：60名
子供クラフト教室 「火山灰アート」	毎年恒例の子供クラフト教室。火山灰を使って絵を描きます。 8／20 （13：30～ 約1時間半） 小学生（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
八丈学講座 「巣箱を調べよう」	毎月行っている八丈学講座。今月は、公園内に設置した巣箱の状態をみんなで調べます。 8／26 （13：30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名
子供クラフト教室 「竹ビーズで作ろう」	毎年恒例の子供クラフト教室。竹ビーズでオカダトカゲを作ります。 8／27 （13：30～ 約1時間半） 小学生（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2006.8.1 第63号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

例年ツクツクボウシの初鳴きは6月下旬ですが、今年は7月6日という遅さでした。全体的に虫の数も少なく、ようやく7月も終わりになって活動が活発になってきました。いったいどうしてしまったのでしょう。やはり冬の寒さが原因なのでしょうか？（高）